

保険診療の血液検査項目から 読み解く栄養評価

慢性症状の根本的な改善を目指すオーソモレキュラー栄養療法の活用

日時

6/27 12:50
13:40

会場

第9会場 パシフィコ横浜 ノース 4F
G401

【整理券の配布場所と日時】

場所：パシフィコ横浜 ノース 1F ホワイエ 日時：6月27日(土)7:30～12:00(※無くなり次第、終了)

- 1) おひとり様一枚限り、開催当日のみの発行となります。
- 2) 整理券の配布は先着順のため、なくなり次第終了させていただきます。
- 3) 配布時間終了後、整理券が残っている場合は、各セミナー会場前で配布します。
- 4) 整理券はセミナー開始と同時に無効となります。
- 5) 各セミナー会場には、整理券をお持ちの方から、優先的にご入場いただけます。
- 6) 整理券をお持ちでない場合でも、各セミナーの参加状況により、ご入場いただける場合があります。



座長

医療法人社団ファミリーメディカル
横浜弘明寺呼吸器内科・内科クリニック

三島 渉 先生

横浜市立大学卒業。2007年に「横浜弘明寺呼吸器内科・内科クリニック」を開院。喘息患者を中心に約5万人の診療を行う。栄養療法と選択理論心理学を取り入れたアプローチしている。著書に『栄養こそが最高の医療である』(工作舎)など



演者

医療法人回生會
みぞぐちクリニック

溝口 徹 先生

福島県立医科大学卒業。2003年に日本初の栄養療法の専門クリニックを設立し、栄養療法における日本随一の臨床経験をもつトップランナー。著書に『最強の栄養療法「オーソモレキュラー」入門』(光文社)など多数

セミナー概要

薬物療法のみでは改善が不十分な症状や、臨床検査で診断が付きにくい慢性症状の背景には、栄養状態の偏りが関係していることが多い。例えば不眠、不安、アトピー性皮膚炎、花粉症、頭痛、倦怠感、ニキビなどが挙げられ、こういった慢性症状の根本的な改善を目指すには個々の栄養状態を把握し、食事の意図的な変更と、至適量の栄養補給を組み合わせるオーソモレキュラー栄養療法が有用である。

患者の栄養状態は、血液検査データから判断することができる。詳細に読み取るには60以上の検査項目での判断が望ましいが、保険診療の範囲で対応できる血液検査の項目からも、多くの情報を得ることができる。本講演では、保険範囲内の限られた検査項目から、患者の栄養状態を読み取る方法を解説し、これによって改善した症例を紹介する。

また、栄養療法においては、ビタミンB群と鉄の補給を必要とする症例が多いことは広く知られているが、日常の診療においては、患者にその必要性をわかりやすく説明し、理解を得る必要がある。そこで、ビタミンB群と鉄、そしてタンパク質の特長や代謝に関して、私の臨床経験を交えて解説する。

オーソモレキュラー栄養療法は、欠乏症に対する栄養補給とは異なる概念として、1950年代より国際的に議論が行われてきた歴史をもつ治療法である。現在では、日本においても内科、精神科・心療内科、婦人科・産婦人科、皮膚科など、様々な診療科で応用されている。

人気No.1



MSSに無料登録でビタミンB群のサプリメントをプレゼント

2003年に創業したMSSは、医療機関専売サプリメントの開発・販売をはじめとした、オーソモレキュラー栄養療法の実践をフルサポートするリーディングカンパニーです。無料登録いただくとサプリメント製品が卸価格でお求めいただけるほか、溝口徹先生の医師向けセミナーをはじめ、栄養療法の学習動画・各種資料が無料でご利用いただけます。右記の二次元コードから、ぜひお気軽にご登録ください。

※株式会社MSSのサービスは医師・歯科医師のみご利用いただけます。

※サプリメントのご注文や有料セミナーのお申し込みなど、有料サービスをご利用されない限り、費用は発生いたしません。

3分でできる
無料登録は
こちらから

